

中央大学リーガル・キャリア・サポート委員会主催  
業務・採用等説明会（2014年6月24日開催）

## 株式会社神戸製鋼所

中央大学法科大学院では、リーガル・キャリア・サポート委員会を組織し、在学生・修了生のみなさんに対して進路決定・就職に関するサポートを行っています。

今回の「業務・採用等説明会」は、株式会社神戸製鋼所の会社概要、法務部および採用について、人事労政部人事グループの岩本優太さんにお話を伺いました。



はじめに岩本さんの自己紹介と入社後の経歴の紹介がありました。その中で、企業人として、“人間関係を築くこと”が大切であると強調されました。入社後すぐに工場の生産管理部門に配属され、現場で先輩に怒られながらも、最後には信頼関係が築けたこと、また次の部署の営業で楽しく仕事ができたと紹介されました。

その後、会社について説明がありました。神戸製鋼所は1905年に当時の商社、鈴木商店の鉄鋼部門が独立したことにより創業した会社で、双日、サッポロビール、帝人等も同様に鈴木商店から独立した企業だそうです。企業としての考え方は、規模やシェアには拘らず、独自の技術を大切にしているとのことでした。そのため製鋼メーカーの側面があるのと同時に産業機械等のメーカーという側面も持ち合わせている特異な企業であるとのことでした。また、ポリシーは、①オンリーワンの徹底的な追求、②ものづくり力の更なる強化、③成長市場への進出深化、④グループの総合力の発揮、⑤社会への貢献との説明がありました。目標は、5～10年以内に、海外の売り上げを50%にする、全体の売り上げを3兆円（現在の連結売り上げは約1兆8千億円）にすることだそうです。

求める人材は、誠実で協働でき変革を目指す人との説明がありました。中でも、仕事は一人でやることは少なく、チームプレイができる人がほしいとのことでした。



次に、法務部についての説明がありました。法務部は現在約20名の社員が働いているそうです。法務部員は、入社後早い時期に2年間の海外勤務が課せられ、内容は、1年間の海外のロー・スクールへの留学と1年間の現地事業所への勤務だそうです。また英語に関して、週2回の外国人講師による社内でのレッスンがあるそうです。法務部の業務は、契約関係・コンプライアンス・知財・海外の現地法人関係・社内教育とのことでした。

最後に採用について、エントリー以降の採用試験の流れについて説明がありました。採用時に語学力は条件とはなっていないようですが、法務部員として勤務する際には語学力が必要になるので、全員入社後に勉強しているとのことでした。

2015年4月の採用は、今年よりも増える見通しだそうです。景気が回復傾向にある中での成長企業の元気さを感じられる説明会でした。

リーガル・キャリア・サポート委員会では、今後も講演会等のイベントを実施していきます。在学生また修了生のみなさん、積極的にご参加ください。